



(播磨有名勝地并豪商獨案内)

姫路市史資料叢書 1

# 飾磨県布達七

監修 山崎 隆三 (大阪市立大学・名城大学名誉教授)  
 解説 八木 哲浩 (神戸大学名誉教授)

## 飾磨県行政の進展

— 県独自の甲・乙・丙布達 —

明治七年までの飾磨県布達は、中央政府の布告を県民に伝達するものが主であって、県独自のものはその間に混じって少数のものが布達されていたにすぎない。ところが八年に入ると、中央政府の布告とは別に、県独自の布達が大量に、しかも甲・乙・丙号と区分して出されている。これは、飾磨県の行政の進展を物語るのであるとともに、県内の地域の実情と行政の実態を示す貴重な史料となっている。

本第七巻では、前巻で予告したように、八年一月〜十二月の甲・乙・丙号布達を収録した。姫路市市史編集室では、散逸したこれらの布達を県下から広く収集してきたが、甲号は公布されたと思われるものの大部分を入手することができたが、乙号はその約半分、丙号にいたっては一割余りのものを収録できずにすぎない。そういう意味で未完成ではあるが、今後各地で新しいものが発見される手掛かりとなれば幸いであると考えて、ここに公刊するものである。

なお付録として、明治五年と八年の飾磨県官員録を写真版で収めた。この三年間に県庁の組織は四課から五課となり、本庁の官員数も増加し、複雑となった行政を支えたことを知ることができる。

七巻を以て  
 凡罪因推乳身平証人のシテ  
 歸お存言と後別致能飲  
 照翠也

県乙布達筆書き

## 既 刊 案 内

- 第一回配本 (昭和六十一年) 近世1 A5判 九一八頁
  - 姫路市史第十巻 史料編 近世1 A5判 九一八頁
  - 第二回配本 (昭和六十三年) (在庫なし)
  - 姫路市史第十四巻 別編 姫路城 A5判 九一三頁
  - 第三回配本 (平成元年) 近現代1 A5判 八四四頁
  - 姫路市史第十二巻 史料編 近現代1 A5判 八四四頁
  - 第四回配本 (平成四年) 近世1 A5判 五八六頁
  - 姫路市史第三巻 本編 近世1 A5判 五八六頁
  - 第五回配本 (平成四年) 民俗編 A5判 七七九頁
  - 姫路市史第十五巻 上 別編 民俗編 A5判 七七九頁
  - 第六回配本 (平成六年) 近現代2 A5判 九五六頁
  - 姫路市史第十三巻 上 史料編 近現代2 A5判 九五六頁
  - 第七回配本 (平成七年) 文化財編1 A5判 五五三頁
  - 姫路市史第十五巻 中 別編 文化財編1 A5判 五五三頁
  - 第八回配本 (平成八年) 近世2 A5判 八七五頁
  - 姫路市史第十一巻 上 史料編 近世2 A5判 八七五頁
  - 第九回配本 (平成十年) 資料編 自然 A5判 四四五頁
  - 姫路市史第七巻 上 資料編 自然 A5判 四四五頁
  - 第十回配本 (平成十一年) 近世3 A5判 九三一頁
  - 姫路市史第十一巻 下 史料編 近世3 A5判 九三一頁
  - 第十一回配本 (平成十一年) 文化財編2 A5判 八〇六頁
  - 姫路市史第十五巻 下 別編 文化財編2 A5判 八〇六頁
- (送料 各巻共 五〇〇円)
- 姫路市史資料叢書1
- 第一回配本 (平成八年) (在庫なし)
  - 飾磨県布達 一 明治四年十一月〜明治六年三月
  - 第二回配本 (平成九年)
  - 飾磨県布達 二 明治六年三月〜七月
  - 第三回配本 (平成九年)
  - 飾磨県布達 三 明治六年七月〜十二月
  - 第四回配本 (平成十年)
  - 飾磨県布達 四 明治七年一月〜十月
  - 第五回配本 (平成十一年)
  - 飾磨県布達 五 明治七年十月〜十二月
  - 第六回配本 (平成十一年)
  - 飾磨県布達 六 明治八年一月〜八月
- ※ 頒価 (各巻共 一、五〇〇円) 送料 各巻共 三〇〇円